



NO. 830  
 発行  
 2014年  
 10月20日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 上石 昌彦  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 出向先の労働条件改善を

## 支部第7回定期大会

国労新潟県支部の第7回定期大会が10月4日13時〜地本事務所で開催されました。

議長に石川代議員が選出され、斉藤委員長のあいさつ、地本から上石委員長が代表してあいさつをしました。

大会は9名の代議員から発言され、職場の問題、北陸新幹線開業に対する問題点、新津車両製作所の全面委託に伴って厳しい職場環境の状況や、労働条件について意見が出されました。委託化が進み職場は厳しい状況になっていきます。

大会は16時頃終了し会場を変えて懇親会を開催し、さらに交流を深めました。



### 斉藤委員長 あいさつ

新潟県支部・斉藤委員長は「どう団結して闘っていくのか、全体の議論から運動方針に肉付けをしていきたいと思います。出向や職場の外注化、新津車両製作所の全面委託化が強行された。郡山工場の外注化が提案されている。働く場の労働条件を改善していこう。支部が分会に対して、どのようなことができるのか、全体の議論をお願い

したい。組織拡大に向けて取り組んでいこう」とあいさつがありました。



### 全体の意見

●職場の現状について、検修・交換の要員が1名足りない状況が2年間続いている。仕業検査について1名が来春に退職予定だ。電気機関車の教育で2名新鶴見機関区へ行った。ひとり、帰ってきたが状況は厳しい。長岡の車両基地へ貨物の社員が出向しているが出向解除があるのか。東新潟機関区の検修の要員が足りないで早急に改善してほしい。

●現場の国労の組織状況は、12名で、JRが4名、出向が4名、エルダーが4名だ。NTSの問題点について要求をどこに上げるのか。交渉はどうやっていくのか。現状は職場では解決しない。でも要求は上げていくのか。JRとは労働条件が違う。業務内容は変わっていない。

●限定運転士は現状はプロパーだけを養成している。乗務員から出向した人が職場から出されている。現場では早期退職されている傾向が強くなっている。新幹線でも養成するうわさがある。試験で、現場で見きわめがあり、それに合格しないと業務できない。乗務員がそれに不合格になっている。他の職場はどうなのか。新津は厳しい。技術継承もうまくいっていない。原因が究明されていない。



●現場で「ときめき鉄道」について説明がある。30分の超動扱い。「ときめき」のダイヤについては、新幹線の仮想ダイヤをもち、「ときめき」のダイヤを作成しシミュレーションをつくっている。12月に新幹線のダイヤが確定する。それから「ときめき」のダイヤが決定する。仮想ダイヤから乗務員の足取りも調査中だ。

●「ときめき」の説明があり何を話すのかと聞いたら、若干新しい話があると聞いた。それは出向者数を把握するため。乗務員だけでは若い人は出向を希望している。他労組は労働条件が決まっているのに希望できないと言っている。希望しているのは地元の子供達だ。

### 上石委員長 あいさつ



県支部が地本の運動に対して中心的に取り組んでいることに感謝し敬意を表します。

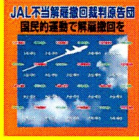
組織にあり方について受け止めていく。政治状況について～国会で代表質問が始まった。安倍内閣は強権政治を進めている。アベノミクスは疑問だ。安倍内閣打倒に向けて取り組みを強化していこう。

国労の最重要課題である組織拡大について、どう取り組み、拡大していくのか。基本に戻って機関の機能を回復させる。お互いに機能回復に取り組んでいこう。

北陸新幹線開業などで対策会議を開催、10月16日は中越、17日は直江津でそれぞれ開催する。

JAL闘争支援の新潟キャラバン行動が11月12日～15日に取り組まれる。課題が多いが地本が先頭に立って取り組んでいく。





不当解雇と闘う  
JAL労働者を支える

# 11.15 新潟集会

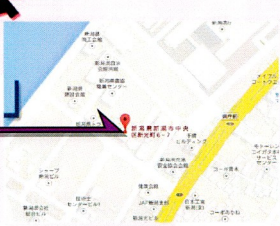
講演 「JAL最高裁の闘いと展望」  
講師 東京南部法律事務所  
堀 浩介 弁護士

2014年11月15日(土)

午後2時 開会

「新潟自治労会館」

入場無料



主催:「新潟集会実行委員会」

連絡先: 国労新潟地方本部  
0250-24-8336



●規約改正について、分会統合はもう少し検討が必要だ。分会活動が低迷している状況では統合してもどうなのか。現状から意味が無い。一緒に活動するのは難しいと考える。分会間でも話し合いが無い。  
「ときめき」への出向について何で出向になるのか。特殊な状況になっている。組織上、共有できるのか。要求・団交など。  
統合問題「ときめき」分会発足も考えていくべきだ。どの程度の人数になるかわからないが、まとまった人数になることも考えていくこと。

●Jトレックに出向している。現場の問題点について、235系の試験用車両の製作が6月から実施されている。1両に問題があり作業が遅れている。工程が1週間遅れているので休日勤務になった。  
エルダー社員が休日出勤によって収入が上がり年金がカットされた。働きすぎになっている。今の担当は5人でやっているがエルダーが1人だ。忙しく定時に帰れない。これからエルダーが増えていくので今後は仕事が回らなくなる。  
4月に転勤者が3人・受取り検査。今まで指摘されたことが無い内容に



●4月に扶養認定の申請をした。子供の収入証明を郵送で送った。手続きに若干問題が発生しJRとやりとりしたが、手続きが難しい。書面は毎回郵送で送る。後は電話での対応だ。郵送の切手代は個人負担になっている。事務係が現場にいないので手続きが難しくなっている。出向者は300人を越える。事務係を現場に配置してほしい。



ついて直させられている。グループで今、面倒になっている。  
129系が完成したがその後、直すところが発生した。235系の完成が9月末の予定が、まだ設計図が無い、5日間くらい遅れている。休日出勤がまた発生する。

●129系が来週、車両センターに配送される。車掌の現場教育・4両編成だけの教育だ。各職場では予定されていない。車両が少ないから実施できないのか。教育に対しての考え方(運転士・車掌・入換え)などの作業について、各職場で教育が予定されているのか。653系について、まだ教育されていない社員がいるが業務上、乗務しなければならぬ時がある。乗務してしまえば乗務員の責任になる。

●新津車両製作所は出向者が300名、事務係の現場配属はできないのか。

代議員の発言内容は職場の問題点が多く、特に委託化された職場は深刻な状況になっています。出向先の労働条件改善に向けて取り組みを強化していきます。そして組織化していきます。

## 編集後記

今回は、県支部の定期大会の内容を記載しました。職場の労働条件について多く発言されました。職場は委託化が進み厳しい労働環境になっています。出向先の組織化を進め、労働条件改善に向けてがんばっていきましょう。

